



地域園芸クラブ

平成30年度

お茶の学習

地域園芸クラブ

1.お茶の苗木植え

今から5年前、京都のお茶屋、祇園辻利（ぎおんつじり）さんより2本のお茶の苗木をいただきました。

自然観察学習園の維持管理協力ボランティア団体である私たちは、学校の先生方にお願ひし、当時1年生だった児童の手によって2本のお茶の苗木を園へ植えるという授業を実現していただきました。



お茶の木は5年経てば、葉を摘んでお茶が飲めるんだって。

みんなが6年生になったときお茶が飲めたらいいなあ！

2.生長するお茶の木

その後の5年間、2本のお茶の木は太陽の光を浴び、水やりや雑草抜きなどの世話をされ、順調に大きくなりました。



花が咲きました



つぼみができ

3.お茶の会の準備として

苗木を植えた児童もいよいよ6年生。木は茶摘みができるほどに生長しました。お茶の会を実施するにあたって、学校（授業をしてくださる先生方）と地域（お茶の木管理担当、地域園芸クラブ）と共に事前学習として京都の祇園辻利本社の元へ学習に伺いました。



お茶の淹れ方も教えていただきました



えいさいぜんじけんしょうちゃひ
栄西禅師顕彰茶碑にて



地図記号の『茶畑』
∴は、お茶の種の配列からきているそう

←たくさん種類のお茶の葉

建仁寺の開山である栄西禅師は宋から日本に茶の種を持ち帰り日本に茶を飲む習慣を広めたと伝えられています

また、児童が飲むためのお茶の葉を作りました。
茶摘み→茶葉を洗う→炒める→揉む→乾燥

1時間くらい炒めて揉みます



4.お茶の会

卒業も近づいた冬の日の2時間目、6年生全クラスが体育館に集まりお茶の会が行われました。



先生のお話 お茶の種類をクイズ形式で学びます

お茶の会プログラム

- 1 先生のお話
- 2 園芸クラブの方からのお話
- 3 苗木を植えたところからのビデオを見る
- 4 体験学習（3グループに分かれローテ）
 - ① 現在のお茶の木を見る
 - ② さまざまなお茶の葉を見る
 - ③ 育ったお茶の木の葉から作られたお茶を飲む
- 5 校長先生のお話



自分たちが植えたお茶の木。
その葉から作られた味は
どんなだろう。

100人分を超えるお茶を
急須でおいしく！

記念に
お茶の葉を



5.お茶の会を終えて（児童の感想より抜粋）



・1年生の時，5年後飲めるといいねということでずっと楽しみにしていました。お茶を飲めたのは，校長先生や園芸クラブのみなさんが，お茶の木を守ってくださったからだと思います。本当にありがとうございました。どんな味が気になりお茶を飲んでみるとすごくおいしかったです。お茶の木を見た時，優しく葉っぱをわたしてくれた時すごくうれしかったです。（Tさん）

・1年の時に植えた時より，木がすごく大きくなっていて，本当に植えた物と同じか疑うくらい大きくなっていました。少しにがかったけど，お茶として飲めていてすごくおいしかったです。台風の時も地震の時も木を守って下さってありがとうございました。（Nさん）

・お茶の葉を発酵するかしらないかで種類が変わるということが勉強になりました。私は緑茶が一番好きです。（Sさん）

・お茶の種類は，葉っぱにテントをかぶせるだけで，ちがう種類ができるのだと教わりました。また，私たちが1年生で植えたお茶の木を見て，私たちがこれを植えたと思うと，とても生長したなと思いました。（Kさん）

・これまでは、のどがかわいたからお茶を飲むという感覚だったけれど、今回のお茶の学習で試飲をしたときに、初めてお茶を楽しむことができました。お茶の葉をさわったとき、どれもにおいをかぎました。ぼくは、てんちゃとほうじ茶のにおいが気に入りました。(Iさん)

・お茶はいつもあたりまえのように飲んでいますが、本当はたくさんの人の手によって作られていることが分かり、とても勉強になりました。(Tさん)

・園芸クラブの方がていねいにお世話をしてくれていたのです、お茶もとてもおいしくあたたかみがあるものです。家族に話すと興味深く話を聞いてもらい、私もとてもうれしかったです。今度また様々なお茶をいれて飲み比べをしてみたいものです。(Yさん)

・お茶の種類がいっぱいで、においをかいだりさわったりしてよくわかりました。紅茶、ウーロン茶など、全部同じ木からできていたのは知らなかったです。(Kさん)

・とてもおいしかったです。あの「宇治茶大好き」という本もとても勉強になりました。記念にもらったお茶の葉は、おし花(葉?)にしてしおりにしたいと思います。ありがとうございました。(Sさん)



番外編:堺へ！ 大人の遠足



平成31年2月28日(木)

自然観察学習園で育てた祇園辻利のお茶の木が契機となり、昨年の京都へのお茶学習会に続いて、今回は茶聖と呼ばれる千利休の生誕の地、堺を訪れることになりました。

「利晶の社」では茶室に入って、お点前体験をさせていただきました。裏千家流のお点前で、お辞儀からお茶や和菓子の頂き方、お茶の立て方まで教えて下さり、見かけより難しいお茶の立て方に悪戦苦闘しました。

お椀を眺めたり、床の間に飾られた花を愛でたり、日本の豊かで静かな自然と共に育まれた文化を肌で感じる事が出来、貴重な体験をさせていただきました。

お点前後は展示室で、千利休や与謝野晶子の生涯についての資料を見ました。茶道の三千家である「裏千家」「表千家」「武者小路千家」は千利休の孫の千宗旦の子供らが作った事など詳しく解説されていました。お点前体験の席でも、流派の違いでお茶を泡立てて頂く裏千家に対し、泡立てない表千家があるとお話して頂いたことを思い出し、日本人の繊細な心の文化に触れることの出来、改めて日本文化の奥深さに驚いた旅でした。実りの多い体験会になりました。

秋まつり

晴明丘地域活動協議会主催の「晴明丘ハロウィン秋まつり」が晴明丘中央公園にて開催されています。晴明丘小学校PTA、晴明丘南小学校PTA、青少年指導員、女性部、社会福祉協議会、民生委員、晴寿会、食生活推進協議会など大勢の地域の方々のご協力により盛大に行なわれています。



地域園芸クラブは自然観察園で育てている「こつまなんきん勝間南瓜」を使って『こつまなんきん勝間南瓜の春巻き』を作っています。

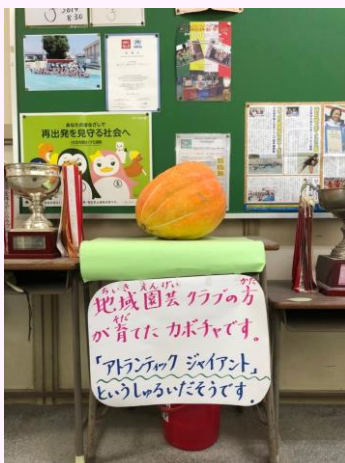
当日は、朝6時から家庭科室を借りて400個の春巻き作りがんばっています



家庭科室で出来上がった春巻きを中央公園まで運び
これから揚げて販売開始です。



- 春巻きは『美味しかった』というお声を頂き見事完売致しました。



これはカボチャで
『アトランティックジャイアント』
という種類です。
初めて観察園で育て見事に育って
くれました。
重さは8kgあります



収穫後は秋まつりの『おばけかぼちゃ』やクリスマスバージョンの『サンタかぼちゃ』に変身しました。



地域園芸クラブの活動と自然観察学習園のあゆみ

清明丘小学校の自然観察学習園は、西運動場の一角にあります。

小学校創立100周年を記念事業の1つとして、当時PTAをはじめ児童、教職員、そして地域の方など沢山のボランティアの方々の手によって、全くの手づくりで完成しました。



以来、この「自然観察学習園」は季節の花や野菜、昆虫の観察ができ、5年生で田植えから稲刈りまでの体験をする児童の学習の場として活用されています。

地域園芸クラブは、潤いある自然観察学習園の維持・管理のお手伝いを、ボランティアで協力し、小学校課程の教科書で学ぶ植物が、遠くに行かなくても学校内ですべて観察することができるようになることを目標とし、子どもたちが実際にふれあえるよう心を配りながら楽しい活動を行なっています。

I. 自然観察学習園ができるまで

「自然にふれて、生命の尊さを理解できる子どもたちに」との願いをこめた自然観察学習園(以下、観察園)の建設は、西運動場で老朽化していたフィールド・アスレチックのところで、平成9年(1997)よりはじまり、腐食した廃材の処理や樹木の撤去作業ののち、平成12年(2000)になると新しい土やじゃりを運び入れ、田んぼができ、観察園での米作りがはじまります。木々や草花の植栽がはじまるのを機にPTAと地域には回覧板で広く、百周年記念実行委員会より「自然観察学習園併設園芸クラブ」と称したクラブ員の募集が行われました。

- ① 学校の植栽計画と連携しながら、潤いある園芸活動を行う。
- ② 互いの親睦を高めながら、作物の栽培だけでなく広く児童の学習活動に参加したり、学習園全般の環境保全にも協力していく

ことを目的とし、「清明丘小学校地域園芸クラブ」が結成されます。池や川も自分たちでコンクリートを練り、作り、木々を植え、草花の苗や球根の植え付けをしました。10月には初めての稲刈りがあり、記念式典では観察園の初収穫の「丘のたんぼの稲」として配布されました。

こうして平成13年1月20日に記念式典が催され、「自然観察学習園」竣工の日を迎えます。学校、PTA、地域園芸クラブで観察園の管理と植栽計画などが話し合われる「自然観察学習園運営委員会」も発足され、耐久的な存続をめざすこととなります。



自然観察学習園



Ⅱ. 自然観察学習園のようす



「たんぼ」からあふれた水はあたりを潤し、川から2つの池へ水が注がれます。阪堺線の枕木の廃材を利用してつくられた段々畑にはなにわ伝統野菜やいちごやトマトが植えられ、西運動場の芝生に面した子どもたちからよく見えるところにはお茶の木や秋の七草をはじめ四季折々の花が栽培され、あおむし〜蝶々、ヤゴ〜トンボ、バッタやカマキリなどもみつけることができます。



たんぼや池や川も、改修や池の増設・修理などを経て、昨年度には阿倍野区の10校の小学校の管理作業員さんによって池がきれいに生まれ変わりました(2017)。今年度(2018)はプールの工事に伴い西運動場への子どもたちへの往来が限られていますが、設立当初に目的とした「潤いある観察園」が持続されていて、まさにESD(持続可能な発展のための教育)が実践されている環境教育の場となっています。

Ⅲ. 自然観察学習園の植栽

観察園当初は、柑橘類はアゲハチョウの観察をするために植えられるなど、子どもたちが都会の中でも自然にふれることのできる環境づくりを念頭に、教務の先生、PTA、園芸クラブと一緒に苗木や球根などが買い求められたようです。その後、学校管理のエリアと地域園芸クラブの活動エリアに分けられ、地域園芸クラブでは割り当てられた用地に子どもたちに見せるための季節の花や野菜を植え、教科書の中ででてくる植生物が学校内で見ることができるようになることを大きな目標としています。

(1) 樹木

さくら、みかん、ゆず、きんかん、かりん、くぬぎ、はなみずきなどがあり、秋には紅葉を愛でることができます。



(2) 草花

観察園では種まきや球根の植え付けをしたチューリップやヒヤシンス、パンジーなどだけでなく、自然に生えたつくし、たんぽぽ、よもぎ、エノコログサ、おおいぬふぐり、ごぎょう、ほとけのぎ、クローバー(シロツメクサ)など。初夏から夏にかけて、あじさい、ひまわり、グラジオラス、矢車草など。その後コスモスや秋の七草(萩、おみなえし、河原なでしこ、桔梗、フジバカマ、すすき)やわれもこう、ひがんばな、すいせんなど、四季の彩りを楽しめます。

(3) 野菜(なにわ伝統野菜、トマトなど)

平成21年(2008)、「天王寺かぶらでっせ」や「なにわ伝統野菜のおはなし」の絵本を書かれた志村敏子先生のご家族がクラブ員になられた関係から天王寺かぶらと田辺大根の種まきをし、初めてなにわ伝統野菜を収穫し、味わうことができました。翌春、天王寺かぶらが黄色い花を咲かせ、菜の花であったことに気付かされました。

この年(2009)、地域園芸クラブは ESD(持続可能な発展のための教育)の実践を念頭に「なにわ伝統野菜」の栽培を進めることとなります。なにわ伝統野菜応援団・天王寺かぶらの会や田辺大根ふやしたろう会など復活にとりくんでいる団体の方々やなにわ伝統野菜生産者農家の方から種や苗をわけていただいています。そうした方々に自然観察学習園アドバイザーになっていただき、子どもたちだけでなく大人も学びながら植栽をすすめてきました。なにわ伝統野菜は大阪の歴史や文化、環境を学ぶことのできる ITEM で、勝間南瓜、玉造黒門越瓜、毛馬きゅうり、吹田くわい、金時人参、うすいえんどう、難波ねぎなど。また水なす、泉州玉ねぎなどの大阪の特産物のほか、トマト、枝豆やスイカ、水菜、ジャンボ・カボチャなど、その年、その季節でのチャレンジは続いています。



春の天王寺かぶら



生産者農家さんとの連携も！

IV. 地域園芸クラブの活動

地域園芸クラブは、自然観察学習園の維持管理のお手伝いをボランティアで協力し、割り当てられた地域園芸クラブエリアに、子どもたちに見せるために花や野菜の栽培をしており、育てた野菜は収穫しておいしく収穫祭をしています。さらにホームページを開設し、観察園のようすをブログでリアルタイムで発信することを行っています。また植栽と食文化に関わる勉強会も兼ね大人の遠足を行っており親睦を図っています。

こうした活動を通じて「人にふれあい、自然にふれあう」ことのできる自然観察学習園で、未来を担う子どもたちがSDGs(持続可能な開発に目標)に向かって、どう取り組んでいくのか楽しみなところですよ。



- 2010 なにわ伝統野菜のおつけものづくり
 石橋明吉さんと勝間南瓜植え付け
 秋の収穫祭
 秋の七草栽培へ！
- 2011 よもぎだんごづくり
 石橋さんによるなにわ伝統野菜講座
 つけものづくり、難波ネギそうめん
 (夏休み収穫祭3回)
 野路菊 御田植神事見学
- 2012 片葉の葎 ガマの穂移植
- 2013 ハルカスキッチン親子料理教室(凜々子)
 勝間南瓜で和食
 勝間木綿の綿くりと糸つむぎ
 ハルカスファーム試験栽培
- 2014 お茶の木を植える
 勝間木綿の綿くりと機織り
- 2015 草木染め ハロウィン秋祭り・はるまき
 おせち料理づくり
- 2016 SF 高校生アンバサダーと流しそうめん
- 2017 草木染め 秋の七草咲きそろそろ
- 2018 キムジャン、しじみがり、ジャンボかぼちゃ
 お茶の学習事前勉強会→お茶の授業
- 2019 大人の遠足 難波ネギ収穫と餃子づくり

できごと

2010 西運動場芝生化



ホームページの開設

<http://seimeigaoka.com>

ブログ随時更新

<http://chiikiengeiclub.sblo.jp>

2012

自然観察学習園運営委員会規約改定

2013 ユネスコスクール認定

ESD 環境学習の場へ

2017 池の修理



2018~2019 プールの改修

春

夏

秋

冬

